

生涯人間発達論 第2版

人間への深い理解と愛情を育むために

著：服部祥子／医学書院

定価：1,995 円(本体 1,900 円＋税 5%)／TEL：03-3817-5657

■初版は 21 世紀に入ったばかりの 2001 年 3 月に刊行され、ちょうど 10 年。社会の変化の流れは加速化し、多様化し、複雑化し、混乱の様相をも呈している。それを反映して、本書の各発達段階における現代的課題の項は書き換えられ、人を援助する仕事に就く人たちに、大きな拠りどころを提供しようと試みる。発達段階と、その課題を踏まえることで、目の前の人へのいっそう深い理解が可能になるだろう。

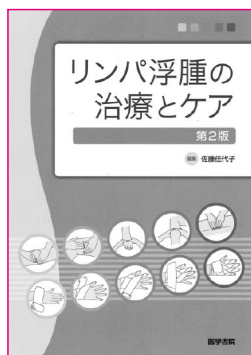
《シリーズ ケアをひらく》その後の不自由

「嵐」のあとを生きる人たち

著：上岡陽江＋大嶋栄子／医学書院

定価：2,100 円(本体 2,000 円＋税 5%)／TEL：03-3817-5657

■2010 年に、広く読者の話題をさらった看護界発のシリーズ《ケアをひらく》。待望の最新刊は、薬物・アルコール依存症をもつ女性をサポートする施設「ダルク女性ハウス」での当事者研究。かつての当事者であり、ダルクの代表者である上岡氏と、精神科ソーシャルワーカーの大嶋氏とが、自らの生き方を、そしてアディクションをもった女性たちの回復への道を報告する。そこから見えてくる『その後の不自由』。「ちょっと寂しい」がちょうどいい(帯より)。読みごたえあり！



リンパ浮腫の治療とケア 第2版

編：佐藤佳代子／医学書院

定価：3,990 円(本体 3,800 円＋税 5%)／TEL：03-3817-5657

■「序」にあるように、2008 年に「リンパ浮腫指導管理料」が保険適用されて、リンパ浮腫の診療は大きく変わった。術後にリンパ浮腫を発症しやすい乳がん患者も、術前に情報を提供され、軽症のうちからケアの対象となっている。本書は、原因・症状に応じたケアの大切さを説き、マッサージの方法をわかりやすく解説する。医療施設の看護師、在宅リハ等のセラピストの活躍を期待したい。臨地実習での気づきを導く書。

ケアと対人援助に活かす

瞑想療法

著：大下大圓／医学書院

定価：2,520 円(本体 2,400 円＋税 5%)／TEL：03-3817-5657

■日々忙しい医療現場、時間に追われる教育現場、そして不安定材料ばかりが報道される現代社会。本書は、現代人に心の平安と、内から湧き出るエネルギーに気づかせる「瞑想法」のテキストである。静かな場所で呼吸を整え、自分の内側を見つめることにより、「ゆるぎない平安なわたしのこころ」(本文より)を得て初めて、他者と「いのち」を共有できるのだと説く。現代の悩める学生たちと向き合う貴方に。





傾聴力

話が通じない人とも話せる

著：武藤清栄／アスカ

定価 1,575 円(本体 1,500 円＋税 5%)／TEL：03-5395-7650

■コミュニケーションが希薄な現代、聴くことのプロ、ベテランカウンセラーが、心を開いたコミュニケーションの極意、ほんとうの傾聴の仕方を伝授する。「なぜあの人の話は理解できないんだろう」と、相手とのやりとりの冷静な分析をベースに始まり、たくさんの例を引いた対応のトレーニングは、第4章「話を深く聴くための質問」へと展開する。構えずに人と話せる力、それこそが「傾聴力」。

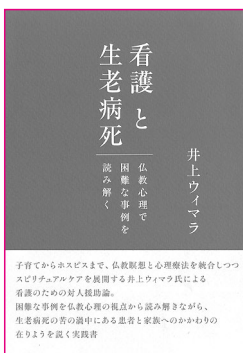
《ブルーバックス》

人体再生に挑む 再生医療の最前線

著：東嶋和子／講談社

定価：861 円(本体 820 円＋税 5%)／TEL：03-5395-5817

■現代日本“再生医療”の第一線の現場からのレポート。脊髄損傷や心臓病、失明、難聴といった障害の克服に、医療者のみならず多領域の学者、ビジネスマン、そして誰よりも患者たちの熱い視線が注がれている。「『人体再生』とは決して手品のような技術ではない(中略)転んでも、道を閉ざされても、また立ち上がり前へ進もうとする人びとの魂の営みこそが、傷ついた人を再生へと導く」(「はじめに」より)。ドラマを見るような難病克服への道のりを辿りたい。



看護と生老病死 仏教心理で困難な事例を読み解く

著：井上ウィマラ／三輪書店

定価：2,520 円(本体 2,400 円＋税 5%)／TEL：03-3816-7796

■仏教心理を看護に活かす……。仏教心理と聞くだけで、深い哲学を理解し、漢字の多い文章を読み解かねばならないのかと、その垣根の高さを思ってしまうが、ここでは、仏教の智慧を使ったコミュニケーションの方法や、自らの心の平安を保つ方法を、「エクササイズ」としてわかりやすく解説し、数多くの困難な事例へのかかわりを紹介する。患者とともに考え、心に寄り添う看護の実現のために。

日本の看護職教育 戦後からの軌跡

著：山田里津／文藝春秋企画出版部／頒価：2,000 円

購入問合せ：日本看護学校協議会共済会／TEL：03-5541-7112

■GHQの指揮下に始まった、戦後日本の新しい看護職教育。旧専門学校での看護教育を受けて、看護師としての道を歩み始めた著者は、GHQの主導する看護制度と現実とのはざままで闘い、政策立案し、後進を育ててこられた。それは今日にも続いている長い道のり。その60年の振り返りを「日本看護学校協議会ニュース」に連載された貴重なエッセイ集である。そのストレートな願いとポリシーを受け取りたい。

